

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	眼疾病学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2)
対 象 学 年	2年生		学 期	前期 火曜日1限	教室名	1002教室
担 当 教 員	永井由巳					
実務経験と その関連資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>眼科医師(専門医)として平成5年から30年に渡って、主に大学で、他に基幹病院、クリニックなどで臨床に従事。</li> <li>この間、大学において大学院医学研究科博士過程を終えて医学博士を取得。学会活動などの学術、大学での学生や研修医 教育にも従事している。</li> <li>また平成12年から、国立大阪視能訓練士学院で視能訓練士の養成に関わり、大阪医療福祉専門学校でも15年以上視能訓練士学科で講義を担当している。</li> <li>眼科での専門は、網膜硝子体疾患でその中でも加齢黄斑変性を中心とした黄斑疾患を専門とし、他ロービジョンも専門分野としている。</li> <li>日本眼科学会会員、日本眼循環学会会員、日本網膜硝子体学会会員</li> <li>日本眼科学会専門医、日本眼科学会指導医、眼科PDT認定医、視覚障害者用補正具適合判定認定医</li> </ul>					
《授業科目における学習内容》	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常臨床に必要な眼疾患についての病態、症状、検査、治療についての基本的な事項を学習し、個々の疾患の症状や病態から必要な検査や検査結果の意義を考察できる視能訓練士の養成を目指す。</li> </ul>					
《成績評価の方法と基準》	<ul style="list-style-type: none"> <li>全講義の前半と後半のそれぞれ終了時に筆記試験を行う。</li> </ul>					
《使用教材(教科書)及び参考図書》	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の眼科学 第13版</li> <li>標準眼科学 第14版</li> </ul>					
《授業外における学習方法》	<ul style="list-style-type: none"> <li>「眼疾病学」の範囲は膨大であるので、その都度、講義で重要と説明した検査や疾患を中心に復讐が必要である。</li> </ul>					
《履修に当たっての留意点》	<ul style="list-style-type: none"> <li>眼瞼、結膜、強膜、角膜、水晶体、ぶどう膜、網膜・硝子体、視神経、緑内障と眼科疾患の全般について症状、病態、検査、治療について学習し、高度な医療を提供できる「考える視能訓練士」を目指すことを心がけてもらう。</li> </ul>					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	主な眼瞼疾患についての所見、検査法、治療について学習する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の眼科学 第13版</li> <li>標準眼科学 第14版</li> <li>配布プリント</li> </ul>		
	各コマにおける授業予定	眼瞼疾患				
第2回	授業を通じての到達目標	主な角膜・強膜疾患についての所見、検査法、治療について学習する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の眼科学 第13版</li> <li>標準眼科学 第14版</li> <li>配布プリント</li> </ul>		
	各コマにおける授業予定	角膜・強膜疾患①				
第3回	授業を通じての到達目標	主な角膜・強膜疾患についての所見、検査法、治療について学習する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の眼科学 第13版</li> <li>標準眼科学 第14版</li> <li>配布プリント</li> </ul>		
	各コマにおける授業予定	角膜・強膜疾患②				
第4回	授業を通じての到達目標	ぶどう膜の解剖、生理、ぶどう膜炎の総論について学習する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の眼科学 第13版</li> <li>標準眼科学 第14版</li> <li>配布プリント</li> </ul>		
	各コマにおける授業予定	ぶどう膜炎総論				
第5回	授業を通じての到達目標	ぶどう膜炎の総論、ぶどう膜炎以外のぶどう膜疾患について学習する		<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の眼科学 第13版</li> <li>標準眼科学 第14版</li> <li>配布プリント</li> </ul>		
	各コマにおける授業予定	ぶどう膜疾患				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	主な水晶体疾患についての所見、検査法、治療について学習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の眼科学 第13版</li> <li>標準眼科学 第14版</li> <li>配布プリント</li> </ul>	
	各コマにおける授業予定	水晶体疾患		
第7回	授業を通じての到達目標	網膜・硝子体に関する解剖、主な所見や検査法について学習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の眼科学 第13版</li> <li>標準眼科学 第14版</li> <li>配布プリント</li> </ul>	
	各コマにおける授業予定	網膜・硝子体疾患総論		
第8回	授業を通じての到達目標	眼瞼、結膜、角膜、強膜、ぶどう膜、水晶体の分野を総復習する	<ul style="list-style-type: none"> <li>中間試験問題用紙</li> </ul>	
	各コマにおける授業予定	中間試験解説講義		
第9回	授業を通じての到達目標	網膜・硝子体疾患についての所見、検査法、治療について学習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の眼科学 第13版</li> <li>標準眼科学 第14版</li> <li>配布プリント</li> </ul>	
	各コマにおける授業予定	網膜・硝子体疾患①		
第10回	授業を通じての到達目標	網膜・硝子体疾患についての所見、検査法、治療について学習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の眼科学 第13版</li> <li>標準眼科学 第14版</li> <li>配布プリント</li> </ul>	
	各コマにおける授業予定	網膜・硝子体疾患②		
第11回	授業を通じての到達目標	主な視神経・視覚路の解剖、生理、検査法について学習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の眼科学 第13版</li> <li>標準眼科学 第14版</li> <li>配布プリント</li> </ul>	
	各コマにおける授業予定	視神経・視覚路疾患総論		
第12回	授業を通じての到達目標	主な視神経・視覚路疾患の病態、所見、治療について学習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の眼科学 第13版</li> <li>標準眼科学 第14版</li> <li>配布プリント</li> </ul>	
	各コマにおける授業予定	視神経・視覚路疾患		
第13回	授業を通じての到達目標	緑内障の総論(基本的な症状や検査法)について学習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の眼科学 第13版</li> <li>標準眼科学 第14版</li> <li>配布プリント</li> </ul>	
	各コマにおける授業予定	緑内障総論		
第14回	授業を通じての到達目標	緑内障の各論(分類や主な所見、治療法)について学習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の眼科学 第13版</li> <li>標準眼科学 第14版</li> <li>配布プリント</li> </ul>	
	各コマにおける授業予定	緑内障各論		
第15回	授業を通じての到達目標	網膜・硝子体、視神経・視路、緑内障の分野の総復習をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>本試験問題用紙</li> </ul>	
	各コマにおける授業予定	本試験解説講義		